

リビングライコン用ブースタ 1 回路マルチタイプ

品番：NQL10051W
NQL10051S

もくじ

安全上のご注意	2
ご使用上に関するお知らせ	4
各部のなまえとはたらき	4
ブースタとは	4
適合負荷	5
配線方法	6
施工に関するお知らせ	7
施工前のご確認	7
施工方法	8
使用方法	9
仕様	10
教えて！Q&A	10
エラー表示に関して	10
故障かな？と思ったら	11
安全点検	11
お手入れについて	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

お客様へ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使い
ください。特に、ご使用前に「安全上のご注意」
(2～3ページ)を必ずお読みください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときに
お読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。
必ず、販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



禁止

- 本器に水をかけたり、洗剤などをふきつけたりしない

火災、感電のおそれがあります。

- 本器のすぐ近くでストーブや電熱器など温度が高くなるものを置かない

火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- 本体の分解や改造、および修理をしない

火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- ランプ交換の際は、必ず本器の電源スイッチで電源を切る

感電のおそれがあります。

- ランプ交換の際は、適合ランプを使用する

適合ランプ以外を使用すると異常発熱、火災のおそれがあります。

- 照明器具を取り替える場合などは、必ず販売店や工事店にご相談する

照明器具によっては、接続すると火災のおそれがあります。



注意



必ず守る

- ブースタには寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行します。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間です。

・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

・1年に1回は「安全チェックシート」(11ページ)に基づき自主点検してください。

3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。

点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。

この説明書は必ずお客さまにお渡しください。

■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

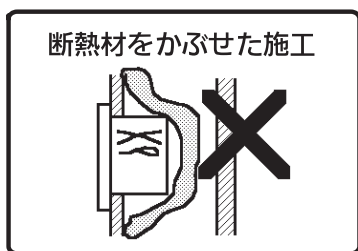
施工説明

安全上のご注意

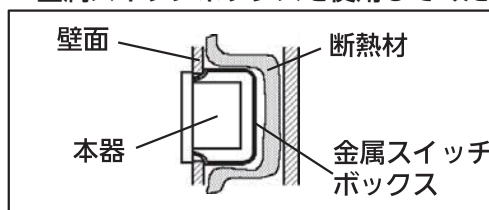
必ずお守りください

警告

- 断熱材（防音材等の断熱効果のあるものを含む）を本器に直接かぶせた状態での施工はしない
火災のおそれがあります。



- ◎断熱施工の場合は下図のように金属スイッチボックスを使用してください。



禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外に取りつけない
火災、感電のおそれがあります。
- 曲がったり、傷ついたり、変色した電線は使用しない
発熱して火災の原因になります。
- 結線するときは、電線を奥まで確実に差し込む
差し込み不十分な場合、発熱するおそれがあり焼損による火災の原因になります。
- ブースタに対応していない照明器具は使用しない
火災のおそれがあります。
- ブースタの出力にコンセントおよびスイッチを接続しない
火災のおそれがあります。
- ブースタの出力にシーリングファンなどのモータを接続しない
火災のおそれがあります。



分解禁止

- 本体の分解や改造、および修理をしない
火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- 施工は、施工説明書にしたがい確実にこなう
取り付けに不備があると、火災、感電のおそれがあります。
- 適合負荷（5ページ）を最大負荷容量または最大接続台数以下で使用する
火災、感電のおそれがあります。
- 説明書に記載された電線を使用し、被覆は本体裏のストリップゲージにあわせてむき端子穴に奥まで差し込む
指定外電線の使用や不十分な結線および電線の先が曲がっている場合は異常発熱、火災のおそれがあります。
- 必ず壁埋込で施工する
指定以外の場所に施工されますと異常発熱、火災のおそれがあります。
- 単相100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

注意



必ず守る

- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- 内部部品の発熱により、表面が50℃ぐらいになることがあります。異常ではありません。
- 調光しているときに、かすかな唸り音がすることがありますが、異常ではありません。
- 表面の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。
水や洗剤は使わないでください。水気が機器に浸入すると故障の原因となります。
また、色落ち・キズなどの原因となりますので、硬い布やシンナー、ベンジンなどは使わないでください。
- テレビやラジオなどのAV機器や、無線機に雑音障害を及ぼす場合があります。
本器の近くでは使用しないよう、ご注意ください。
- カバーの開閉はていねいにお取扱いください。
必要以上に力や衝撃をくわえますと破損してケガをするおそれがあります。
- 電源スイッチを操作する以外はカバーを閉めてお使いください。

各部のなまえとはたらき

表面

【化粧カバーを閉じた状態】

本体

ブースタ付属部品

取扱説明書(本書)
注意シート

通電・エラーLED

通電時に緑点灯します。(正常動作)
エラー表示は10ページをご覧ください。

【化粧カバーを開いた状態】

本体

電源スイッチ

長期留守など待機電力を抑える際やエラー表示が出た際に「切」にしてください。

化粧カバー

取付穴(4箇所)

防気シート

(外すことはできません)

裏面

ライコン接続端子台

リビングライコンの「負荷出力端子」に接続します。

電源入力端子台

照明器具の「電源端子」に接続します。

負荷出力端子台

照明器具の「電源端子」に接続します。

絶縁セパレータ配置溝

調光信号入力端子台

リビングライコンの「調光信号端子」に接続します。

調光信号出力端子台

調光線式照明器具の「調光信号用端子」に接続します。

ブースタとは

リビングライコン(NQ28752WK/SK、NQ28751WK/SK、NQ28732WK/SK)と接続することで、リビングライコンに接続できる負荷容量を増やすことができます。

- ・本器はリビングライコン調光タイプ専用です。NQ28750W/Sやその他のライトコントローラとは接続できません。
- ・リビングライコンに接続できるのは1回路に1台だけです。
- ・本器を接続したリビングライコンの回路の負荷容量は1W(0.01A)、調光信号線の容量は5mAとして、残りの回路の容量を計算してください。



※本器単体ではあかり切替やシーン設定はできません。

リビングライコンと組合せてご使用いただき、リビングライコンより操作・設定してください。

適合負荷

ブースタに接続する負荷によってリビングライコンの負荷切替スイッチを設定する必要があります。
リビングライコンの施工説明書を参照し、負荷切替スイッチを接続負荷に対して正しく設定してください。
(ブースタには負荷切替スイッチはありません。)

ランプ種類【ランプ品番】			起動方式 ※2	1回路あたりの負荷容量 ※8	あかりの切替
白 熱 灯					
トランス (12V)	ワイヤリングシステム (12V) 電源ユニット LGK00151			35～300Wまで	ON/OFF 調光
	電子ダウントランス HNK00844				
直管 蛍光灯	Hf蛍光灯 [FHF] 明るさフリー ※1		PX、PY、PD、EDH	35～300W (0.35～3A) まで (ただし明るさフリー は最大20台まで)	ON/OFF 調光
	シームレスラインランプ明るさフリー [FRT] ※1		EYH		
	Hf蛍光灯、Hfスリム蛍光灯 [FHF]		E		ON/OFF
	シームレスラインランプ [FRT]				
直管蛍光灯 [FL]					
丸形 蛍光灯	ツインパルック (プレミア) 蛍光灯 [FHD]		E	20形以下 8台まで 21～39形 5台まで 40～100形 2台まで	ON/OFF
	丸形スリム蛍光灯 [FHC]				
	丸形蛍光灯 [FCL]				
	スパイラルパルック蛍光灯 [FHSC]				
パルックボールプレミア				7～10灯まで	ON/OFF
LED	LED明るさフリー	位相制御式 (2線式) ※4	LC※3、LG※7 LK、LB※7、LU	0.35A～3Aまで	ON/OFF 調光
		信号線式 ※1	LD、LV※7、LZ、LA LT、LH※5、LX※5、 LY※5、LI※9	0.35A～3Aまで	
	LED器具 (出力固定型)		LE※7	0.35A～3Aまで	ON/OFF
			CE	8～15灯まで	
			CF	6～12灯まで	
	LED電球 (パナソニック製) ※6				8～15灯まで

※1 調光には調光信号線が必要です。

※2 起動方式は、基本的にアルファベットの後ろの数字が『1』の照明器具をご使用ください。(例：PX1、LE1)
『7 (電圧100V/200V)』や『9 (電圧100～242V)』を使う場合は、必ず入力電源をAC100Vでご使用ください。

※3 1回路につき1台調光インターフェースユニット (NK28900) を必ず接続してください。

※4 位相制御式 (2線式) の照明器具は下記の現象が発生する場合がありますが異常ではありません。

- ・調光上限および、調光下限で明るさの変化しない範囲が他の器具より多くなります。
- ・調光下限でチラツキが発生する場合があります。その場合は少し明るめでご使用ください。
- ・他機器 (同相電源の照明以外の高容量負荷など) の影響で電源電圧が変動すると調光点灯時に明るさが若干変化することがあります。
- ・複数灯を同時に調光した場合、消灯する明るさにバラツキが生じることがあります。

※5 初期照度補正機能により調光できる範囲が狭くなります。調光下限・上限域では操作しても明るさは変わりません。

※6 LED電球 (調光器対応) はON/OFFのみで使用可能です。

※7 起動方式LG、LB、LV、LEには台数制限が必要な品番があります。

Web上の「リビングライコン接続判定ツール」をご確認ください。

※8 最大負荷容量を超えると故障のおそれがあります。

※9 負荷容量や配線は、器具側の制限があります。器具の取扱説明と施工説明をご確認ください。

●逆相2.5Aタイプのリビングライコンとは接続できません。

使用不可親器：NQ28770W/H、NQ28771W/H

●リモコン、センサ、調光機能付照明器具およびひとセンサタイプ、明るさ・光色切替タイプLED電球は接続できません。また、照明器具以外 (シーリングファン・電磁開閉器など) も接続できません。

●1回路には必ず同じランプ種類 (起動方式) を接続してください。

●他社製の蛍光灯やLEDの照明器具、電子ダウントランスは接続できません。

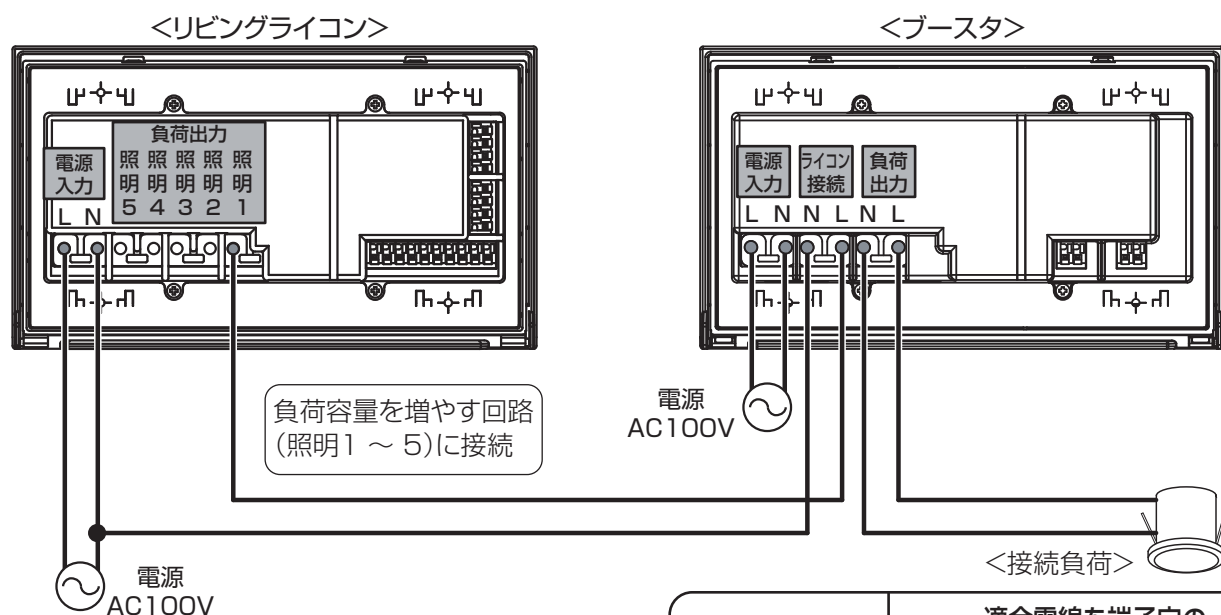
●白熱灯以外 (蛍光灯およびLED器具) の負荷容量は必ず、入力電流 [A] の合計で計算してください。

リビングライコン接続判定ツール

<http://sumai.panasonic.jp/lighting/home/living-lightcontrol/app/>

配線方法

- LED明るさフリー位相制御方式(2線式)・LED電球
・パルックボール・ON/OFF器具(LED、蛍光灯)・白熱の結線図例



- 電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。



警告



適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。

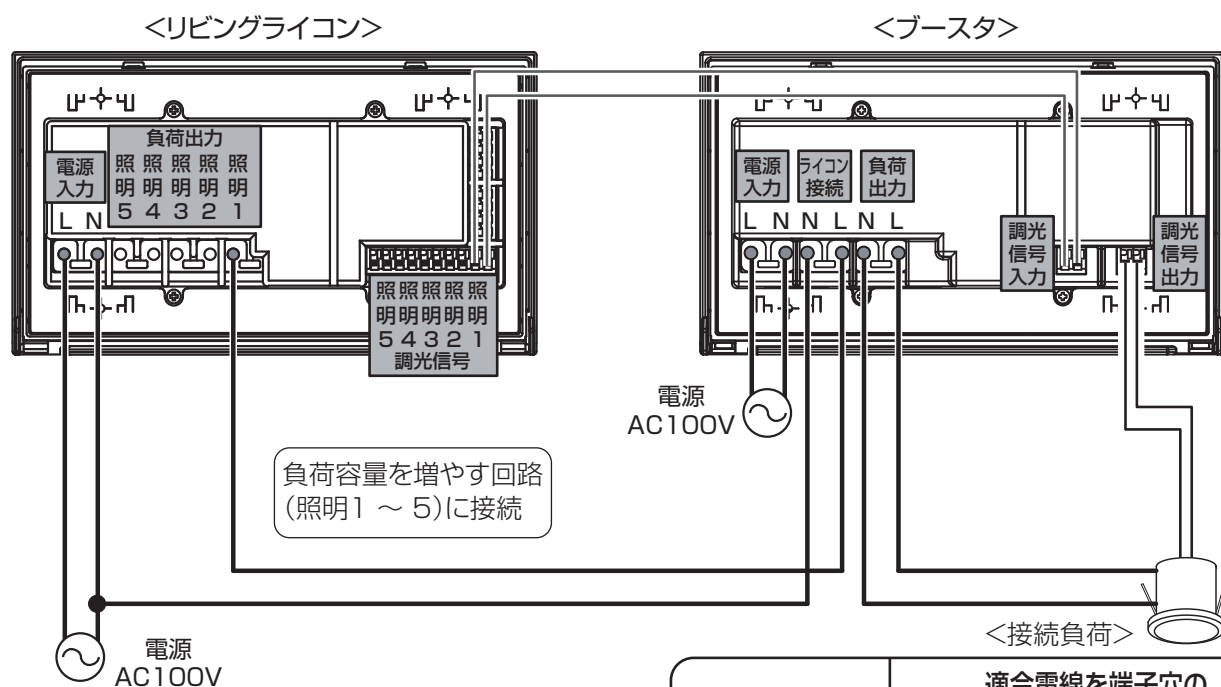


注意



結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。

- 明るさフリー・蛍光灯明るさフリー(信号線式)の結線図例



- 電源線、負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。
- 調光信号線にはEM-CPEE (CPEV相当) φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。
- ブースタからの調光信号線の総配線長は100m以下にしてください。

※起動方式：LIの配線図は、器具の施工説明をご確認ください。



警告



適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。



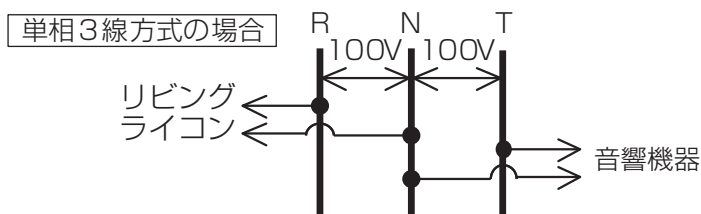
注意



結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。

施工に関するお知らせ

- 負荷側の端子は決して短絡させないでください。短絡しますと一瞬で本器が破壊されます。
- 負荷側と信号線を間違えないように確認してから結線してください。間違えて結線されますと照明器具が故障する可能性があります。
- 本器は単相100V専用です。
- リビングライコンとブースタは必ず同相電源としてください。
(単相3線方式電源のR-N、T-Nからそれぞれの電源をとっても構いません。)
- 本器には雑音防止装置を内蔵していますが、ラジオや各種音響機器に雑音障害を及ぼす場合がありますので音響機器側には下記の対策を実施してください。
 - ・ブースタと音響機器やアンテナ、アース線とは1m以上離してください。
 - ・音響機器にアースがある場合は、音響機器の器具アースを確実にとってください。
 - ・ブースタと音響機器は電源を別相にしてください。



- 電源が単相3線方式の場合で、消費電力が1kW以上の機器がある場合はその機器とは電源を別相にしてください。電源波形にひずみが生じ照明がちらつく場合があります。
- 高気密を確保するために必ず加工穴寸法を守り、防気シートが曲がらないように施工してください。
- ケースに必要以上に強い衝撃を与えないでください。また、割れやひびが入ったまま施工されますと安全性能が保てなくなります。
- リビングライコンの1回路あたりに接続できるブースタは1台だけです。
- マット敷き工法(熱抵抗値 $2.5\text{m}^2\cdot\text{K}/\text{W}$ 以下)で断熱施工された壁に使用できます。

施工前のご確認

- 本器の取付にはスイッチボックスまたははさみ金具を使用してください。

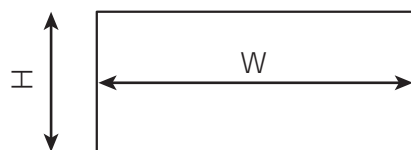
・JIS4コ用金属スイッチボックス(カバー付)
 <推奨品番:DS4914(パナソニック製)>
 注)浅型のスイッチボックスは、奥行きがないため
 樹脂製スイッチボックスは、放熱性が悪いいため
 使用できません。

・はさみ金具7~18mm石膏ボード用
 <推奨品番:WN3993K020(パナソニック製)>
 注)はさみ金具WN39929020は使用不可
 はさみ金具は必ず4箇所ですめてください。

- 取付方法に対応した開口穴の寸法を空けてください。

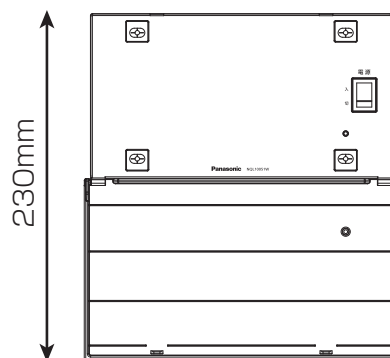
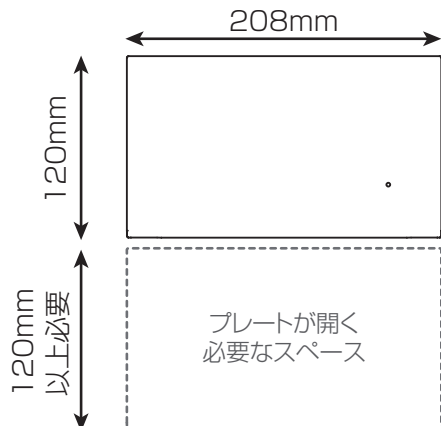
※開口穴について

最初に最小寸法で穴を開け、商品と位置調整をしながら穴を削って広げるように施工してください。



	W	H
スイッチボックス取付	189 ⁺⁵ ₋₀	90 ⁺⁵ ₋₀
はさみ金具取付	189 ⁺⁵ ₋₀	95 ⁺⁵ ₋₀

- カバーは下を開きますので本器の下に120mm以上のスペースを確保してください。



- 接続取付はできません。並べる場合は30mm以上間隔をあけてください。

- 上下逆や横向きに施工しないでください。

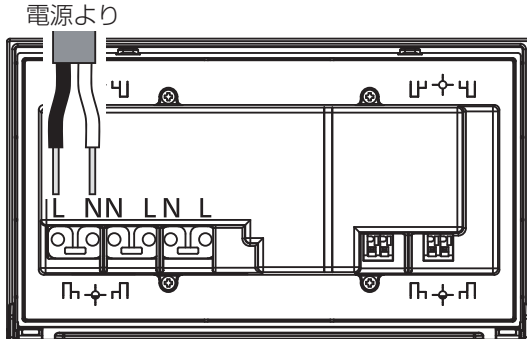
施工方法

取り付け前のご注意

- ・器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

1 電源線を接続する

電源線を本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて「電源入力端子台」に接続してください。



- 電源線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。

- 本器にはニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源端子のN側に接続してください。

警告



適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。

注意



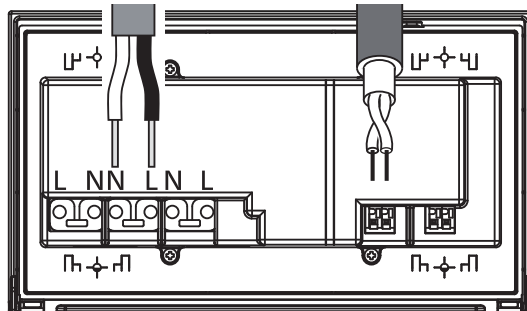
- ・結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。
- ・負荷線を短絡させない
故障のおそれがあります。

ストリップゲージ	
電源線 Cu単線 φ1.6 φ2.0	12mm

2 リビングライコンと接続する

リビングライコンからの負荷線と調光信号線を本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて負荷線は「ライコン接続端子台」に、調光信号線は「調光信号入力端子台」に接続してください。

リビングライコンから (負荷線) リビングライコンから ※ (調光信号線)



- リビングライコンからの負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。
- リビングライコンからの調光信号線にはEM-CPEE (CPEV相当) φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。

警告



適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。

注意



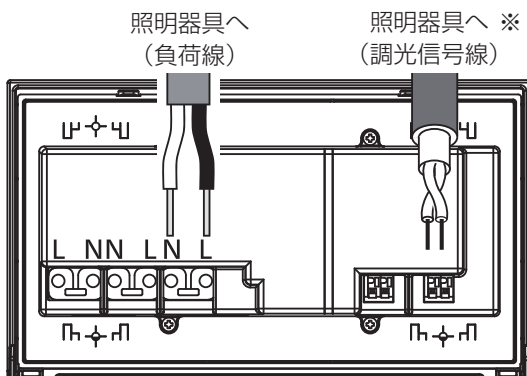
結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。

ストリップゲージ	
調光信号線 Cu単線 φ1.2 φ0.9	8mm
ストリップゲージ	
負荷線 Cu単線 φ1.6 φ2.0	12mm

- リビングライコンからの負荷出力線は必ず「ライコン接続端子台」のL側に接続してください。
- LED明るさフリー（信号線式）、蛍光灯明るさフリーなど調光信号で調光する器具をブースタに接続する場合は必ず調光信号線を接続してください。

3 照明器具と接続する

照明器具への負荷線と調光信号線を本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて負荷線は「負荷出力接続端子台」に、調光信号線は「調光信号端子台」に接続してください。



※白熱灯、LED明るさフリー（位相制御式）、ON/OFF器具には調光信号線は不要です。

警告



適合電線を端子穴の奥まで差し込む
異常発熱や火災などの原因となります。

注意



結線図に従って正しく配線する
故障のおそれがあります。

(次ページへ続く)

施工方法（つづき）

3 照明器具と接続する（つづき）

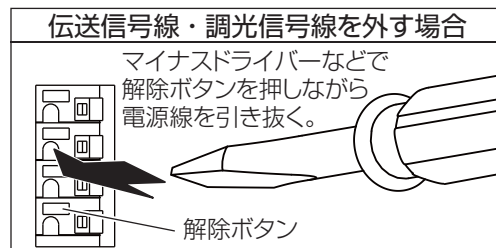
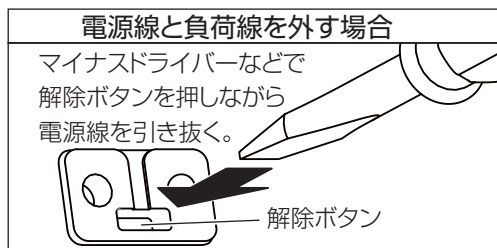
- 負荷線にはφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。
- 調光信号線にはEM-CPEE（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。

- LED明るさフリー（信号線式）、蛍光灯明るさフリーなど調光信号で調光する器具をブースタに接続する場合は必ず調光信号線を接続してください。
- 照明器具は必ず適合負荷（5ページ）を接続してください。

ストリップゲージ	
調光信号線 Cu単線 φ1.2 φ0.9	8mm
ストリップゲージ	
負荷線 Cu単線 φ1.6 φ2.0	12mm

メモ

器具の取り替えなどで外す場合、以下の方法で引き抜いてください。

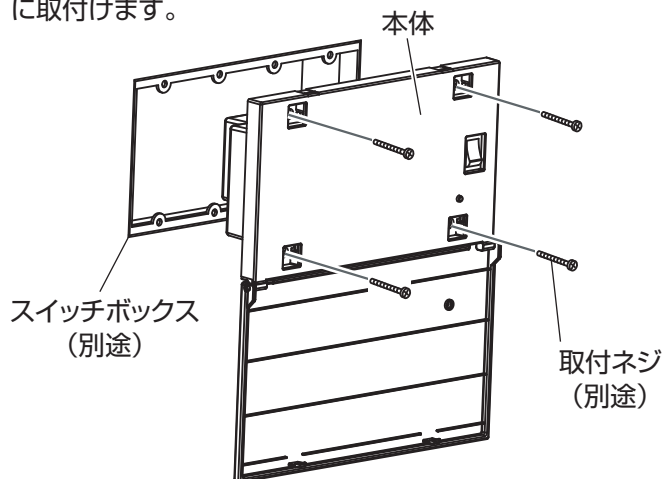


4 本体を取付ける

カバーを開けて、下記の取付方法に合わせて取付してください。
取付後はカバーを閉じてください。

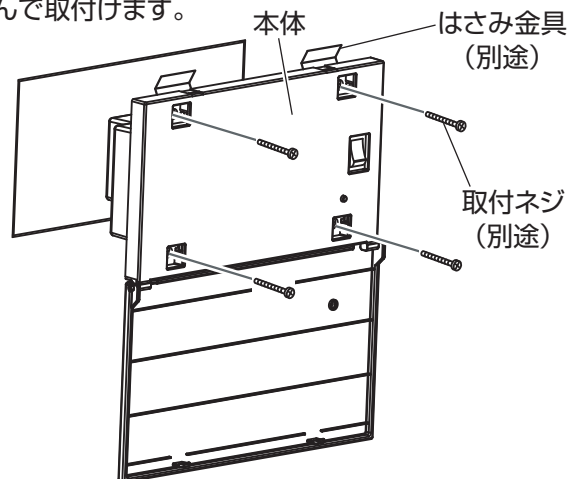
■ スイッチボックス取付の場合

本体をM4ネジ（別途）でスイッチボックスに取付けます。



■ はさみ金具取付の場合

はさみ金具（別途）を使って本体を壁に埋め込んで取付けます。



注意



本体を確実に取付ける
取付けが不完全な場合、
落下による怪我の原因
となります。

確認

はさみ金具を使用する際は必ず
4個使用して取付けてください。

- 壁材にメタルラス、ワイヤラスなど金属が含まれる場合はその金属部に触れないように施工してください。
- スイッチボックス取付時は電源線・負荷線と調光信号線・伝送信号線は絶縁セパレータ（別売：WV2450）など堅ろうな隔壁を設けて絶縁してください。

5 リビングライコンの負荷切替スイッチを設定する

ブースタに接続された負荷に合わせて、リビングライコンと接続した回路の負荷切替スイッチを設定してください。（ブースタでの設定は不要です。）

Ⓔ 負荷切替スイッチの設定方法は、リビングライコンの施工説明書の「負荷切替スイッチの設定」をご覧ください。

使用方法

カバーを開けて、電源スイッチを「入」にしてください。（操作後はカバーを閉じてください。）

※ 本器単体ではあかり切替やシーン設定はできません。

リビングライコンと組合せてご使用いただき、リビングライコンより操作・設定してください。

品番	NQL10051W (ホワイト) NQL10051S (シルバー)
品名	リビングライコン用ブースタ1回路マルチタイプ
定格電圧	AC100V (50/60Hz 共用)
使用温度	5 ~ 35℃
使用湿度	40 ~ 85%RH
負荷容量	35~300W(0.35 ~ 3A)※

※接続する負荷によって接続できる容量・台数が異なります。

☞ 詳細は「適合負荷」5ページをご覧ください。

教えて！Q&A

Q1 LED、蛍光灯、白熱灯を混合してブースタに接続することができますか？

A1 できません。
LED、蛍光灯、白熱灯それぞれ調光制御の方式や調光範囲が異なります。必ず同じランプ種類（起動方式）を接続してください。（☞ 接続可能な負荷は「適合負荷」5ページをご覧ください。）

Q2 リビングライコンの1回路にブースタを複数接続して、さらに容量を増やすことはできますか？

A2 できません。
ブースタはリビングライコンの各回路に1台のみしか接続できません。
(5回路のリビングライコンの場合、各回路1台接続で最大5台まで接続できます。)

Q3 照明器具1台に対して複数のブースタを接続することはできますか？

A3 できません。
照明器具1台に対して接続できるブースタは1台のみです。

Q4 調光信号線は分岐配線することはできますか？

A4 可能です。

Q5 他のライトコントロールと使用することはできますか？

A5 できません。
本器はリビングライコン専用です。
他のライトコントロールや他社製の調光器とは接続できません。

エラー表示に関して

本器に問題が生じた場合、通電・エラーLEDが点灯・点滅するエラー表示をおこないます。

① LEDが橙色で点灯している場合

＜現象＞ 電球（または照明器具）取付後、あかりを点けるとすべてのあかりが勝手に消えてしまい、その後通電・エラーLEDが橙点灯し続けている。

＜原因＞ 本器の定格容量以上の照明器具が接続された。

＜対策＞ カバーを開け電源切/入スイッチを切って、正しい定格の照明器具に交換後、電源を入れてください。それでもあかりが消えてしまう場合は本器もしくは照明器具に異常が発生している可能性があります。直ちに電源を切りお買い上げの販売店、工事店にご連絡ください。

② LEDが橙色に点滅している場合

＜現象＞ 明るさを調整できる蛍光灯やLED器具（起動方式LD、LV、LZ、LX、LY、LI）の明るさが操作できず、通電・エラーLEDが橙点滅し続けている。

＜原因＞ 照明器具自体もしくは配線に異常・間違いがある。

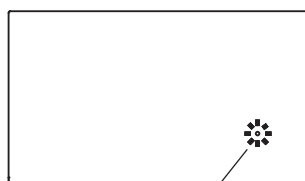
＜対策＞ 照明器具や配線を確認する必要があります。確認には電気工事士の資格が必要になりますのでお買い上げの販売店、工事店にご連絡ください。

③ LEDが緑色と橙色で交互に点滅している場合

＜現象＞ 通電・エラーLEDが緑と橙が交互に点滅し続けている。

＜原因＞ リビングライコンと本器との配線に異常・間違いがある。

＜対策＞ 照明器具や配線を確認する必要があります。確認には電気工事士の資格が必要になりますのでお買い上げの販売店、工事店にご連絡ください。



☼ 通電・エラーLED
正常動作：緑点灯
(電源ON時)

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本器の通電・エラーLEDが点灯しない	電源が入っていない。	化粧カバーをあけて、電源スイッチを「入」にする。	—
	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。	6ページ
	電源線を間違えて調光信号線に接続して電源を入れた。	本器が壊れます。交換してください。	—
	負荷線を短絡している。	本器が壊れます。交換してください。	—
本器の通電・エラーLEDが橙点灯する	接続されている負荷が容量を超えている。	負荷容量を範囲内にしてください。	5ページ
本器の通電・エラーLEDが橙点滅する	調光信号線につながれている負荷が容量を超えている	負荷容量を範囲内にしてください。	5ページ
	調光信号線が短絡している。	調光信号線の配線をみなおしてください。	6ページ
本器の通電・エラーLEDが緑と橙に交互点滅する	リビングライコンからの負荷線と調光信号線が間違えて配線されている。	正しく結線しなおしてください。	6ページ
点灯しない	負荷線の端子台が間違っている。	正しく結線しなおしてください。	6ページ
調光できない		調光可能な器具に交換してください。	—
	調光できない照明器具が接続されている。	リビングライコンの負荷切替スイッチをON/OFF設定で使用してください。(ON/OFF使用となります。)	—
	リビングライコンの負荷切替スイッチが正しく設定されてない。	リビングライコンの負荷切替スイッチを設定しなおしてください。	—
	調光信号線がつかない。 (蛍光灯、LED (信号線式) の場合)	調光信号線の配線をみなおしてください。	6ページ
あかりがちらつく	電源が単相3線の場合で同じ相に消費電力が1kW以上の機器がある。	その機器とは電源の相を分けてください。	—
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。	5ページ
触ると熱い	表面温度は50℃ぐらいまであがる場合があります。これは正常です。	—	—
うなり音をする	本器はわずかにうなり音がします。これは正常です。	—	—

上記の処置を行っても現象が続く場合

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

安全点検について

安全のため、電源を切ってから行ってください

下記の安全チェックシートにしたがって定期的に安全点検を行ってください。

安全チェックシート

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順
	/	/	/	/	/	
1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止のためお取り替えをおすすめします。
2. 操作しなくても勝手に点滅する。						
3. 本体パネルなどが異常に熱い。						
4. こげくさい臭いがする。						
5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。						
1. 購入後、10年以上経過している。						○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
2. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
3. ブースタ取付部に変形・ガタツキゆるみなどがある。						

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店など専門家にご相談ください。

お手入れについて

- 表面の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。
水や洗剤は使わないでください。
水気が機器に浸入すると故障の原因となります。

確認

シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤などでふいたり、
硬い布でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () ー
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	リビングライコン用ブースタ
●品番	☐ NQL10051W ☐ NQL10051S
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

お手入れ・お取り扱い・修理・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、以下の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/>

ライフソリューションズ 修理サービスサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

使い方・お手入れなどのご相談 365日 受付9時～18時

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター



フリーダイヤル パナは ナットク

0120-878-709

■ 左記電話番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1109

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「6#」を押してください。

(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■ FAX フリーダイヤル

0120-872-460

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

修理に関するご相談 平日9時～19時 日・祝・年末年始9時～18時

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口



フリーダイヤル パナニ イコー

0120-872-150

■ 左記電話番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1090

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2012 - 2019

NQL10051W - T3A8

K0612 - 080419